

【1面から】事務局長、新日本婦人の会の井上のぶみ事務局長、香川民医連の大西和子会長、高松民主商工

「憲法を活かそう。つなぐ連帯のバトン」①

自民党が衆院の議席で3分の2を超え、暴走を加速させる高市政権。多くの野党が、それになびくなか、これに立ち向かう「憲法を中心にした国民的共通」が大事になっています。また、平和の問題ではトランプ米政権とイスラエルは、イランに対する大規模な国連憲章と国際法を乱暴に蹂躪する無法な先制攻撃をしました。数の力で内政でも外交でも暴走する、アメ



リカなど覇権主義国家の「力の支配」に追随しかねない高市自維政権と自民党政治に対抗する「法の支配」を世界各国に求め平和を希求する国民的共通が求められます。

いまを生きる私たちが連帯のバトンをつなぎ、そのつないだバトンをさらに次の未来を生きるおとなや子どもたちに引き継げるように、様々な政党、職種、分野、立場や違いを乗り越え、「憲法を活かそう」と運動や活動をする多様な各界の方々の連帯のメッセージを連載します。

☆街頭から声を上げてつなぐ声を広げたい

脱原発四電前金曜行動 フラワーデモの参加者 吉富キティ
毎月11日に性暴力の根絶を目指すフラワーデモに参加

で声を上げ続けたいと思います。

「ストップ・温暖化⑦」 風 遥

【2面から】アクションを行なっています。最大の暴力である戦争を止める行動でも、こんなかたちで声が集まって、協力を広げられるよう、私は商店街や駅頭

やっと敵しかった冬が終わり、暖かな日差しを告げ、

が心地よい季節がやって来りました。

ここに衆議院を通過させ、13日には参議院に送られてくる可能性も大きくなってきています。そうならば参議院でも実質2週間程度の審議となります。他党の国対委員長も「こんなことを許せば国会は死んでしまっ」と。その通りです。予算案には9兆円もの大軍拡予算

永年在職議員表彰で参議院に来られました。参議院議員団でお祝い茶話会。お三方から24年間の思い出深い議員生活をお聞きして、私

アメリカ・イスラエルがイランを先制攻撃し、子どもを含む多数の民間人が犠牲になっていきます。どこからどう見ても国際法違反の無法な武力行使。こんなことを許しておくわけにはいきません。衆議院予算委員会でも、田村智子委員長が「両国に攻撃中止を求めよ」と迫りましたが、高市首相は答弁を渋り、米国・イスラエルを一切批判しません。今月予定されているトランプ大統領との首脳会談で高市首相は一体何と言つのか。それにしてもひどい状態の国会。高市首相は何がなんでも来年度予算の成立を年度内に、審議もそこそ

紙智子さん、山下芳生さんの3名の前参議院議員が、



勇気いんりんんエッセイ 参議院議員 白川よう子

もこの先輩方と国会で一緒に過ごしたかったなあと、心の底から思いました。この6年間頑張り抜いて、次は必ず新しい仲間も迎えて前進させて！

生まれたら戦争だった 戦前・戦後を振り返りつつ 元中学校教員 河田 敬一郎

2年ぐらいで特攻に行かされたりした人たちではないでしょうか。先生に勧められたために命を落とすことになった人も多

4) 戦争に抗した数少ない勇気ある先生たち

かっただのではないのでしょうか。そんな中で教え子を戦場に送らなかつた先生もいました。教え子が師範学校予科から特別操縦見習士官になろうとするのを止めて、本科に入るように勧めました。本科に進んだ教え子は特攻死から免れました。「あの先生がいなければ今日の僕はいない」という感謝の言葉を直接本人から聞きました。出会った先生により、生死が分かれるということを歴史の事実が物語っています。

敗戦の少し前に、石田東の校長先生が生徒と芋を掘りながら「この戦争は負ける」と言いました。この話を生徒が家に帰って親に話し、親から警察に通報され、すぐに捕まることになりました。他の校長先生や先生方が皆「戦争に負けない」と教えている中で、香川県にも真実を話す立派な先生がいたということを知りました。

戦時中は多くの先生方が「早く志願して、戦地に行け」と勧めていました。知覧の特攻記念館を訪れたとき、特攻隊員の名簿を見ると16歳から19歳ぐらいの若い人が多いのに気付きました。これは、志願兵となったり、陸軍士官学校に入学して



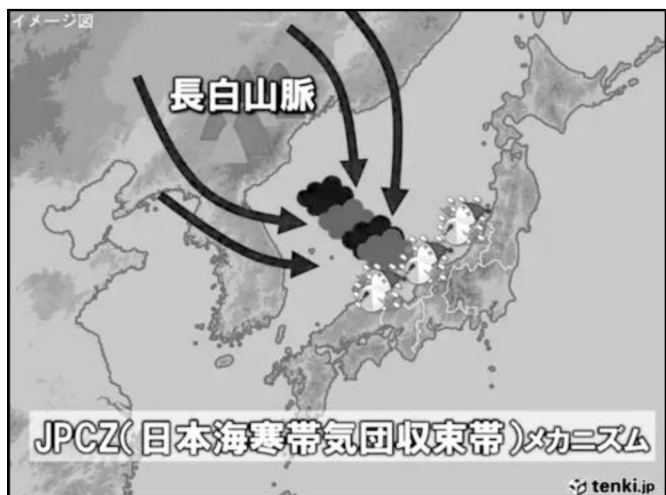
り女性への暴力が最も大きく酷くなる戦争に前のめりです。大変危険です。

声を街で上げることは、確かな現場のメッセージだからです。

危険な戦争への流れをとめるには、一人ひとりそれぞれ街で声を上げて生身の声を繋げていけたらと思います。スパイ防止法、武器輸出、改憲と矢継ぎ早に繰り出される戦争への動きにひるむことなく反対の

フラワーデモがわは個人が集まって田町交番前などで性暴力根絶を訴えてきました。今年の3月8日国際女性デーには他の女性団体とともにウィメンズマーチというジェンダー平等や人権を求める【3面に】

予想通り、昨年にと続きこの冬も日本海側では記録的な大雪となりました。



実は、この原因も『温暖化』の仕業です。「日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)」テレビで気象予報士が連日解説していたため、皆さんもご存知でしょうか？ JPCZとは日本海側に雪雲を発達させる帯のこと。シベリア高気圧から流れ込む寒気が、朝鮮半島北部の長白山脈にぶつかって二手に分かかれ、日本海で再び合流することで発生します。

さらに、西日本の記録的な少雨、乾燥も温暖化による「気象の極端化」の可能性があります。これから、ひと雨ごとに暖かくなる季節ですが、寒暖差の大きい時季でもあります。温暖化のため、季節先取りの異常高温にならないことを祈るばかりです。くれぐれも体調管理にお気を付け下さい。引き続き皆さんと取り組んでいきたいと思います。